

日本医史学会会報

53号 (復刊)

平成29年10月30日

第118回大会印象記と第119回日本医史学会総会学術大会の開催に当たって …	会-1
第118回日本医史学会学術大会 会員大会 ……………	会-4
平成28年度関連医史学団体報告 ……………	会-11
雑報 (寄贈本リスト) ……………	会-18

第118回大会印象記と 第119回日本医史学会総会学術大会の開催にあたって

119回総会会長 園田 真也

2017年6月10日から11日にかけて日本医史学会総会・学術大会が京都大学芝蘭会館で開催されました。来年の総会につなげるためにも大成功にて終了した本年の印象記を書かせていただきます。

私は総会の前日入りしました。新幹線利用でしたので鹿児島～京都は4時間と少し。ずいぶん近くなったものです。

京都駅からタクシーで京都大学に向かいましたが途中の鴨川では河床がもう出ており、夕方のビールを楽しんでいる方も (うらやましかったです)。

社員総会は欠席でしたが、京懐石とハモ鍋を食しながらの懇親会は学会への期待を高めてくれます。1年ぶりにお会いできる方も多く、自分の1年間の成長?を先輩方に見てもらおうような新鮮な気持ちで発表を行いたいと考えました。

運良く芝蘭 (しらん) 会館のお宿を取れましたので会場は目の前。朝は余裕でお散歩などをした上で会場入りしました。お恥ずかしいことに実行委員長の葉山美知子先生に会場の名前を“しらん”会館と呼んでいたのをやんわりと注意されました。プログラムの裏面に芝蘭の出典が記載されていましてので急遽お勉強です。芳香を放つ霊芝と藤袴であり、長らく芝蘭の部屋にいると香りに気付かなくなるが、おのずと感化されている。転じて医者たる者は気品と教養を漂わせ、人々に慕われる有徳、善行の君子でありたいという理念がこめられているとのこと。自分も成長したいものです。

会場の稲森ホール、山内ホールともに意匠を凝らした立派な場所でした。今回は会長のお考えなのか?通常、会長講演があった上で会場毎に東洋医学、西洋医学と割とはっきり分けられています

が、今回は会長講演もなく、東洋と西洋の発表者が意図的に混在しているようです。

いつもは、西洋医学の会場にいることが多い私ですが、東洋医学方面の食わず嫌いは良くありませんね。広い視点を持つようにとの会長の御配慮と思いました。

今回、口演は72題、紙上演表は14題と盛況であり、土曜日は特別講演、日曜日はシンポジウムと盛りだくさんでありました。私自身にとって特別講演は感銘深い物でした。バリバリの臨床医からのお話であり、近代史を研究している私の最大の関心事でもあります。内容は、

伴 隆一先生の「放射線機器の発展史」：眼科医としてレーザーを使用した眼のCTを汎用している立場からも画像診断の発展は興味深いものでした。また器械の発展の方向性についても考えさせられた発表でした。

石田雅司先生の「歯科分野の発展と未来展望」：歯科医療に於ける顕微鏡を使用した術者に優しいシステムの構築は感銘を受けました。自分の術者としての寿命を延ばすヒントが隠されているようにも思いました。

秋田 巖先生の「夢分析：もの言う分析からもの言わぬ分析へー解釈から沈黙へ」：なかなか難解でありましたが、精神医学の奥深いところを垣間見たような気がしました。

田中浩明先生の「消化器癌に対する内視鏡手術の現状」：臨床全科の中で最も小さい涙道（眼内）内視鏡を使用する身として3D内視鏡などの手術はダイナミックな中に繊細さを感じるものでした。遠隔操作での手術など汎用化され普及すると手術を含めた医療自体に大きな変化が起これると思いました。

発表の合間に展示物も拝見です。京都大学の時計台1F展示場では「医史学の京風景」と題して京都大学ゆかり品が特別展示されました。真柳誠先生とまわらせていただいた貴重書展示は、特別講釈も拝聴できましたので眼福という言葉そのものでした。

また会場のロビー展示も行われ、実行委員の心

づくしである医療器具と書籍展示は京都の医史学の奥深さそのものでした。

日曜日の医史学シンポジウムは石田 純郎先生（大塚薬報の病院史跡を巡る旅の連載は楽しみにしています！）のお話しや長野 仁先生の「文書の大公開時代」という言葉が印象的でした。これからの医史学は大量のデータと閲覧しながらさらに発展していく可能性を感じられました。午後2時前に会場を退出いたしました。大満足の2日間でした。

さて次回の119回の宣伝になりますが、社員懇親会はハモ鍋から豚しゃぶ鍋に変わり、飲み物は焼酎が主役を務めます。鹿児島は医史学としては弱い面がありますが、日本近代化の過程で大きな役割を果たしました。

中央から離れているが、大陸に近く、その地政学的位置から独自の政治・経済・文化圏を形成してきました。また人間の営みに随伴する医学も周辺地域より様々な影響を受けながら独自の発展経過をたどってきました。医史学関連でまとめてみると、

～13世紀までは資料があまり残っていません。

14～16世紀：中央から下向してきた島津氏を頭領にいただき、一時は九州全域を平定しそうな勢いまで発展。薩摩は尚武の土地、戦乱が絶えない世の中で戦場の医術も発展したであろう事は想像に難くありません。盲人の奏でる薩摩琵琶などは戦場の士気を鼓舞するものでした。

豊臣秀吉の九州攻めの後は薩摩・大隅・日向の3カ国の領地を安堵され、豊臣政権に与し、文禄・慶長の役では朝鮮出兵を経験します。その際、陶工を連れ帰り、医書を獲得する事で医術、産業を発展させました。またポルトガル人ザビエルやアルメイダの逗留などの史実があり、南蛮人との交流の中での南蛮医術の伝来も考えられます。

17世紀：明末の戦乱を避けて鹿児島に帰化した大陸人の中では医術を業とする者も。唐仁原・唐人町・高麗橋などの地名が残っており、大きなコミュニティーを形成していたと考えられ

ます。

18世紀：江戸幕府より琉球の統治をゆだねられた薩摩藩は、現地に代官を置き、琉球との交流を独占しました。その中には人材交流があり、琉球人が薩摩で鍼などを含めた医術を習得、薩摩人が琉球の医師に口唇裂の治療を伝授してもらったりしました。また藩医は京都・江戸などに遊学することで最新の医学情報を薩摩に届ける役割を担いました。温暖な気候を利用した薬園が藩内数カ所に設けられたのもこの時代。

19世紀：世の流れが蘭学に傾く中、薩摩藩は積極的に長崎に人士を派遣し、医術、技術の習得を目指します。この人材が明治維新を支える原動力になりました。

維新时期に入ると国内で率先して西洋医学を取り入れます。医学校の設置やお雇い外国人ウィリアム・ウィリスの事例などが好例。

20世紀前半：有能な人士を中央に輩出した鹿児島は産業・医術においても停滞期を迎えます。もとより生産性が高い土地でもないため、有為な人材は中央もしくは大陸を目指し、医師養成機関が無い場合独自の医療の発展には冬の時代を経験しました。医学部が創設されるのも第2次大戦の前後。

第2次大戦後：人材育成機関が整った今日、島嶼医学や亜熱帯医学などで独自の貢献を行っています。

総会が行われる最南端の地でもあり、大河ドラマは「西郷どん」、平成の最後の年といろいろな節目でもあります。ふるってご参加下さい。

追記(平成29年12月10日)

※総会会場周辺のご案内

鹿児島県医師会館は鹿児島中央駅に近く、周辺にはホテルが多いですが早めのご予約をおすすめいたします。また西郷隆盛、大久保利通、東郷平八郎、大山巖など明治の元勳ゆかりの地が徒歩圏内。また外国人医師が活躍した場所でもあり、近くに高麗町などの地名を残しています。

鹿児島市内の銭湯は温泉であり、お気に入りの風呂グッズをご持参してくるのも良いかもしれません。入ると寿命が1日延びるという不確実な情報もあります。

甘党の女性、左党の男性どちらもご満足できるような物が特産でもあります。ご参加お待ちしております!!

第118回日本医史学会学術大会 会員大会

去る平成29年6月10日(金)に社員総会が京都大学人文科学研究所大会議室で、11日(土)には会員大会が芝蘭会館で開催されました。下記の報告が承認され、協議事項について全ての議案が可決されました。

I. 報告事項(平成29年3月31日現在)

1. 平成28年度庶務報告

(1) 会員の動静

- ・ 入会者 33名
- ・ 退会者 55名

死亡会員 8名

安室芳樹(平成28年7月3日逝去)

神谷昭典(平成28年3月29日逝去)

川村純一(平成29年逝去)

津下健哉(平成28年5月1日逝去)

内田雄三(平成29年1月26日逝去)

唐澤信安(平成28年4月20日逝去)

木下安子(平成28年9月逝去)

平野 満(平成26年9月6日逝去)

都合退会 47名

- ・ 現在会員数 770名 正会員 717名(内 団体会員20名, 海外会員44名)
- 学生会員 29名 名誉会員 6名
- 功労会員 16名 賛助会員 2名

(2) 受賞

平成28年5月21日 第28回矢数医史学賞

平成28年5月21日 第22回富士川游学術奨励賞

平成29年3月16日 ヘルシー・ソサエティ賞

真柳 誠

三崎裕子

桑原正彦

2. 平成28年度事業報告

事業名		内容	
日本医史学雑誌		第62巻第2・3・4号, 第63巻第1号 発行	
第117回日本医史学会総会 会長 <small>やまざきまさかず</small> 山崎正寿	(準備)	広島県医師会館 (広島県広島市)	平成28年5月21日(土) ~22日(日)
日本医史学会月例会		順天堂大学	1, 3, 4, 6, 10, 11月 第4土曜日
日本医史学会9月例会	共催	日本医史学会神奈川地方会秋季例会との合同	
		鶴見大学	平成28年9月10日(土)
日本医史学会12月例会	共催	日本薬史学会・日本獣医史学会・日本歯科医史学会・ 日本看護歴史学会・洋学史学会との合同	
		順天堂大学	平成28年12月17日(土)
神農祭	協賛	湯島聖堂	平成28年11月23日(水)
医心方と京都の医学史展2016	特別協力	護王会館護王神社	平成28年11月1日(火) ~3日(木・祝)
第26回漢方治療研究会	後援	北里大学薬学部	平成28年10月2日(日)
「桑田衡平翁」生誕180周年記念展	後援	日高市総合福祉センター	平成28年6月23日(木) ~27日(月)
長崎市佐古小学校地の養生所遺跡群の調査と保存に関する要望			平成29年2月19日(日) 提出

長崎市佐古小学校地の養生所遺跡群の調査と保存に関する要望は、日本医史学会と洋学史学会の連名で長崎県知事、長崎県教育委員会教育長、長崎市長、長崎市教育委員会教育長、長崎市文化財審議会会長に提出され、長崎市より回答があった。

3. 第29回矢数医史学賞選考委員会報告

とりい ゆみこ
鳥井裕美子著『前野良沢——生涯一日のごとく——』(思文閣出版)

まち せんじゅうろう
町 泉寿郎 代表執筆『曲直瀬道三と近世日本医療社会』(武田科学振興財団杏雨書屋)

4. 第23回富士川游学術奨励賞選考委員会報告

おおみ けんいち
逢見憲一「水島府県別生命表における死亡統計届出の正確性に関する認識の変化

——“沖縄＝伝統的長寿県”説との関連——」(日本医史学雑誌第62巻第4号掲載)

5. 関連医史学団体報告(資料A)

6. その他

II. 協議事項

第1号議案 平成28年度決算報告に関する件(資料1-2)

第2号議案 平成29年度事業計画案に関する件

事業名		内容	
日本医史学雑誌		第63巻第2・3・4号, 第64巻第1号 発行	
第118回日本医史学会総会 会長 武田時昌 ^{たけだときまさ}	(準備)	京都大学芝蘭会館 (京都府京都市)	平成29年6月10日(土) ~11日(日)
第119回日本医史学会総会 会長 園田真也 ^{そのだしんや}	(準備)	鹿児島県医師会館 (鹿児島県)	平成30年6月2日(土) ~3日(日)
第120回日本医史学会総会 会長 山内一信 ^{やまうちかずのぶ}	(準備)	愛知県産業労働センター (愛知県)	平成31年5月18日(土) ~19日(日)
第121回日本医史学会総会 会長 志村俊郎 ^{しむらとしろう}	(準備)	日本医科大学橋桜会館 (東京都文京区)	平成32年5月30日(土) ~31日(日)
日本医史学会月例会		順天堂大学	1, 3, 4, 5, 10, 11月 第4土曜日
日本医史学会9月例会	共催	日本医史学会神奈川地方会秋季例会との合同 鶴見大学	平成29年9月
日本医史学会12月例会	共催	日本薬史学会・日本獣医史学会・日本歯科医史学会・ 日本看護歴史学会・洋学史学会との合同 順天堂大学	平成29年12月16日(土)
神農祭	協賛	湯島聖堂	平成29年11月23日 (木・祝)
医心方と京都の医学史展2017	特別 協力	護王会館護王神社	平成29年11月1日(水) ~3日(金・祝)
第2回高麗郡偉人伝 医学者 桑田衡平の生涯と業績	後援	高麗神社	平成29年7月23日(日) ~30日(日)
東洞祭	後援	広島大学広仁会館	平成29年9月9日(土)
第27回漢方治療研究会	後援	コラッセ福島(福島県)	平成29年10月1日(日)

第3号議案 平成29年度予算案に関する件(資料3)

第4号議案 役員の改選に関する件(資料4)

資料4について、印刷後に就任承諾書が届いた山田和夫先生を代議員として追記した。

資料1

貸借対照表
平成29年3月31日現在

科 目	金 額	備 考
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金	181,888	
預金	7,016,023	
流動資産 合計	7,197,911	
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
基本財産 合計	0	
(2) 特定資産		
特定預金	8,711,520	
矢数医史学賞基金	5,023,021	
富士川游学術奨励賞基金	1,567,261	
特定資産 合計	15,301,802	
(3) その他固定資産		
華岡碑	3,566,592	
その他固定資産 合計	3,566,592	
固定資産 合計	18,868,394	
資産 合計	26,066,305	
II 負債の部		
1. 流動負債		
前受金	3,720,000	
預り金	26,954	
流動負債 合計	3,746,954	
2. 固定負債		
固定負債 合計	0	
負債 合計	3,746,954	
III 正味財産の部		
1. 一般正味財産		
正味財産 合計	22,319,351	

資料2

正味財産増減計算書

自平成28年4月1日

至平成29年3月31日

科目	金額	備考
I 一般正味財産増減の部		
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
① 会費収入	7,473,133	
② 助成金	0	
③ 寄付金	101,000	
経常収益計	7,574,133	
(2) 経常費用		
① 学会誌刊行費	4,260,215	
② 事業費	1,155,079	
③ 人件費	2,888,217	
④ 会議費等	108,389	
⑤ 旅費交通費	472,920	
⑥ 通信・運送費	152,965	
⑦ 事務費	25,997	
⑧ 支払手数料	150,000	
⑨ 医学会負担金	87,150	
⑩ 減価償却費	74,304	
⑪ 雑費	9,508	
経常費用計	9,384,744	
当期経常増減額 = (1) - (2)	-1,810,611	
2. 経常外増減の部		
(1) 経常外収益		
① 受取利息	1,016	
経常外収益計	1,016	
(2) 経常外費用		
① 名簿製作費	97,200	
経常外費用計	97,200	
当期経常外増減額 = (1) - (2)	-96,184	
当期一般正味財産増減額 = 1 + 2	-1,906,795	
一般正味財産 期首残高	24,226,146	
一般正味財産 期末残高	22,319,351	
II 正味財産期末残高	22,319,351	

定款第31条に従い、平成28年度の資産及び会計について監査した結果、理事の職務執行に不備の点はなく、決算報告書は正確かつ妥当であることを認めます。

平成29年4月17日

監事



監事



資料3

平成29年度予算(案)

科目	決算	予算	備考
	自平成28年4月1日 至平成29年3月31日		
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 会費収入	7,473,133	8,000,000	
② 助成金	0	0	
③ 寄付金	101,000	1,350,000	
経常収益計	7,574,133	9,350,000	
(2) 経常費用			
① 学会誌刊行費	4,260,215	4,200,000	
② 事業費	1,155,079	1,200,000	
③ 人件費	2,888,217	2,600,000	
④ 会議費等	108,389	60,000	
⑤ 旅費交通費	472,920	550,000	
⑥ 通信・運送費	152,965	80,000	
⑦ 事務費	25,997	30,000	
⑧ 支払手数料	150,000	150,000	
⑨ 医学会負担金	87,150	90,000	
⑩ 減価償却費	74,304	74,304	
⑪ 雑費	9,508	20,000	
経常費用計	9,384,744	9,054,304	
当期経常増減額 = (1) - (2)	-1,810,611	295,696	
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 受取利息	1,016	1,016	
経常外収益計	1,016	1,016	
(2) 経常外費用			
① 名簿製作費	97,200	0	
経常外費用計	97,200	0	
当期経常外増減額 = (1) - (2)	-96,184	1,016	
当期一般正味財産増減額 = 1 + 2	-1,906,795	296,712	
一般正味財産 期首残高	24,226,146	22,319,351	
一般正味財産 期末残高	22,319,351	22,616,063	
II 正味財産期末残高	22,319,351	22,616,063	

資料4

一般社団法人 日本医史学会 役員氏名 (五十音順・敬称略 ○は新任)

理事長 ○坂井 建雄

副理事長 ○小曾戸 洋

常任理事 ○川崑 真人, ○西巻 明彦, 真柳 誠, ヴォルフガング・ミヒェル

監事 ○鈴木 晃仁, ○鈴木 達彦

理事 青木 歳幸, 猪飼 祥夫, ○蔵方 宏昌, 佐藤 裕, 澤井 直,
○志村 俊郎, 園田 真也, ○瀧澤 利行, ○長野 仁, 町 泉寿郎,
○松田 隆秀, ○柳澤 波香, ○山内 一信, 渡部 幹夫

代議員 相川 忠臣, ○板野 俊文, ○岩間真知子, 遠藤 次郎, 逢見 憲一,
小形 利彦, 郭 秀梅, ○梶谷 真司, ○梶谷 光弘, ○勝井 恵子,
亀田 一邦, ○川原由佳里, 上林 茂暢, 小林 健二, 渋谷 鈺,
島田 達生, ○杉田 聡, 鈴木 則子, ○鈴木 紀子, 関根 透,
○武田 時昌, ○田中 誠二, 月澤美代子, 寺澤 捷年, 永島 剛,
橋本 明, 花輪 壽彦, 葉山美知子, 樋口 輝雄, 平尾真智子,
○星野 卓之, ○松村 紀明, 宮川 浩也, ○百瀬 祐, 山崎 正寿,
山田 和夫, ○吉川 澄美

名誉会員 ○岡田 靖雄, 奥沢 康正, 蒲原 宏, 酒井 シヅ, 杉田 暉道,
高橋 文, ○田中 祐尾, 深瀬 泰旦, ○松木 明知

功労会員 青木 國雄, 青木 允夫, 赤祖父一知, 荒井 保男, ○岩崎 鐵志,
小田 皓二, 片桐 一男, 小林 晶, 島田 保久, ○新村 拓,
高橋 昭, 友吉 唯夫, ○中澤 淳, 中橋 彌光, 原田 康夫,
藤倉 一郎, 松尾 信一, ○松下 正明, 山田 光胤, 山之内卯一,
○吉田 忠

編集委員

(委員長) ○町 泉寿郎

(委員) 逢見 憲一, 澤井 直, 永島 剛, 松村 紀明, 渡部 幹夫

(資料A)

平成28年度 関連医史学団体報告

北海道医史学研究会 事業報告

北海道医史学研究会の平成28年度の活動はございません。

新潟支部 報告

今年度は支部としての例会、研究発表は行われなかった。支部事務局の所在は従来どおり、日本歯科大学新潟生命歯学部医の博物館である。

平成28年度(2016年)中の支部会員の学会発表などは次の通りである。

1) 学会・研究会などでの発表

- ①第117回日本医史学会総会(5月21～22日 広島市・広島県医師会館)
- | | |
|-------------------|-----------|
| 池田流痘瘡治療の考察 | 西巻明彦 |
| 医籍の編製について | 樋口輝雄 |
| 彦根藩解剖図『解體記并圖』について | 佐藤利英・樋口輝雄 |
- ②日本医史学会関西支部2016年秋季学術集会(2016年11月13日 大阪市・大阪市立大学)
- | | |
|---------|------|
| 緒方春朔の実績 | 西巻明彦 |
|---------|------|
- ③第44回日本歯科医史学会総会(10月1日 東京都文京区・東京ガーデンパレス)
- | | |
|---|------|
| 『菜根譚』にみる医療倫理思想の考察 | 西巻明彦 |
| 池田門人帖にみる池田流痘診治療の流布 | 西巻明彦 |
| 世界遺産と医療文化遺産に関する考察 | 西巻明彦 |
| 『医心方』巻5 歯牙疾患再考 | 西巻明彦 |
| 高山紀斎の歯痛 | 樋口輝雄 |
| イギリスの医師 George H. Hope 著 “Till The Doctor Comes: And How to Help Him” と
榎林建三郎訳『医師の来る迄 一名救急法』 | 樋口輝雄 |
- ④日本医史学会3月例会(3月26日 東京都文京区・順天堂大学)
- | | |
|------------------|------|
| 池田流痘診治療にみる唇舌図の考察 | 西巻明彦 |
|------------------|------|
- ⑤講演
- | | |
|--|------|
| 心身の危機管理の歴史(3月13日 越友会 新潟市・新潟シルバーホテル) | 蒲原 宏 |
| 記憶の中の會津八一先生—その生涯と病気(5月26日 新潟市・新潟日報メディアシップ) | 蒲原 宏 |
| 人間の自我と周辺我認識の歴史(7月16日 新潟市・吉運堂講堂) | 蒲原 宏 |
| 新潟の西洋医学発達史—西洋医学倫理と医療・医学教育の伝統について—
(10月3日 新潟市・新潟大学医学部) | 蒲原 宏 |
| シンポジウム「世界が認めた産婦人科医荻野久作博士の業績」
(10月8日 新潟市・だいしホール) | 蒲原 宏 |
| 記憶の中の整形外科の2先達 本島一郎先生と天兒民和先生
(11月19日 新潟市・新潟大学医学部) | 蒲原 宏 |

2) 著作ならびに論文等

整形外科の歴史 (223)~(234) —アメリカ整形外科の近代化 (73)~(84) —

「整形外科腫瘍学の発展 (9)~(20)」

蒲原 宏

※ “整形外科の歴史” は『整形外科看護』21巻1号~12号(2016年1~12月)に連載

〒951-8580 新潟市中央区浜浦町1-8 日本歯科大学新潟生命歯学部 医の博物館内

電話 025-267-1500 FAX 025-267-1134 日本医史学会新潟支部(樋口輝雄)

北陸支部 活動報告

1. 会員数：42名(平成29年月3日17日現在)

2. 活動報告：

(1) 幹事会・連絡会：平成28年4月2日(土)

(2) 第38回例会・総会：平成28年7月3日(日)

世話人：太田 久夫 先生

会 場：高岡市ウィング・ウィング

研究発表：

(1) 太田久夫：明治時代前期に雑誌の編集に関わった坪井信良と高峰譲吉

(2) 赤祖父一知, 清水正博, 山本博：「反求舎」異聞—金沢における心学所と種痘所の関係について

(3) 山本 健：金沢医学館一期生藤本純吉の生涯 (1)

(4) 山本 健：金沢医学館一期生藤本純吉の生涯 (2)

(5) 特別講演：小川恵子：金沢の漢方医学

(6) 板垣英治：ホルトルマン方集に記載された水銀剤処方について

(7) 山本 博, 杉山和久, 小島直人, 高田知代子：高安右人と金沢大学—高安家から寄贈された資料を中心に

(3) 北陸医史第39号発行：平成29年1月31日(金)

3. 連絡先：

〒920-8640 金沢市宝町13-1

金沢大学医薬保健研究域医学系血管分子生物学教室内

北陸医史学会事務局(篠原治道, 新村祐子)

電話：076-265-2182

E-mail: n-yuko@med.kanazawa-u.ac.jp

神奈川地方会

平成28年度・第47回日本医史学会神奈川地方会秋季例会と日本医史学会9月例会 合同例会

日 時：平成27年9月10日(土) 13:15~17:00

会 場：鶴見大学・大学会館 第3講堂 第2会議室

出席者：約100名

- 1) 総会：荒井保男会長挨拶
：関根透幹事長の現況報告
：坂本玄子会計担当幹事の決算及び予算の報告
- 2) 一般講演
勝井恵子「[医]の思想と医療倫理教育」
- 3) 宿題報告
滝上 正「自家感染実験の歴史」
- 4) 特別講演
杉崎正志先生「絵で見る顎関節脱臼整復法の歴史」

なお、「第47回の秋季例会」の打合せの幹事会は平成28年7月21日、鶴見駅前の「寿楽」にて6名出席して行われた。

平成28年度・第48回日本医史学会神奈川地方会春季例会

日 時：平成29年3月18日(土) 13:15～17:00
会 場：鶴見大学・大学会館 2階 204 研修室
出席者：約30名

- 1) 総会：荒井保男会長挨拶
関根透幹事長における地方会における幹事会報告
幹事会報告：新会長(現会長の高齢化)と新会計担当幹事(病氣入院)の交代について本総会で承認された。新会長には松田隆秀現幹事が新会計担当幹事には中村節子現担当幹事と新会長が指名した神奈川地方会会員が担当する。なお、新会長は「第49回日本医史学会神奈川地方会」から就任する。
荒井保男会長に松田隆秀幹事から長年の労苦をねぎらう挨拶と花束の贈呈があった。
- 2) 一般演題
 - 1 柳澤波香「英国における開業医の系譜(下)」
 - 2 山田裕道, 山下 光
「The Yokohama Public Hospital & The Yokohama General Hospital 一当院のはじまり」
- 3) 特別講演
西巻明彦「19世紀初頭の日本の医療事情—天然痘を中心に—」

なお、「第48回春季例会」の打合せ幹事会は平成28年2月5日、鶴見駅前の「寿楽」にて行われ、現会長の高齢化と会計幹事の入院により、幹事会にて新会長の候補として松田隆秀幹事が、会計担当は中村節子幹事と他1名を推薦することになった。

東海支部 報告

1. 下記講演会の後援活動を行った。

『伊藤圭介日記』(第22集)出版記念会 一洋学史学会 12月例会共催一

平成28年12月4日(日) 午後1時～4時
(於名古屋市東山植物園植物会館研修室)

【記念講演】

- | | |
|-------------------------------|-------|
| シーボルトの『日本植物誌』と「日本植物目録」との関連 | 加藤偉重氏 |
| 浅井平一郎著『丹波修治先生傳』の紹介(二) | 河村典久氏 |
| 開拓使の官園—東京・青山の官園を中心とした歴史から— | 桜田道雄氏 |
| 小石川植物園草木図説について(一) | 邑田裕子氏 |
| 若き日の牧野富太郎から伊藤圭介への質問 | |
| —明治15年(1882)に牧野が出した「質問書」を中心に— | 田中純子氏 |
| 東山植物園所蔵の伊藤圭介親族関連文書 | 杉村啓治氏 |

(山内一信・高橋 昭)

関西支部 活動報告

▽日本医史学会関西支部2016年秋季大会(28年度春季は開催なし)

平成28年11月13日(日) 於・大阪市立大学医学部学舎 4階中講義室 共催:京都医学史研究会
〈一般演題〉

- | | |
|--------------------------------|-----------------|
| 1. 「ベルツの日記」の登場人物(2) | 山上勝久(大阪市立大学) |
| 2. 正倉院戸籍文書にみる灸 | 猪飼祥夫(北里大学医史研) |
| 3. 緒方洪庵書状二通—伊藤圭介と林守一宛 | 古西義麿(除痘館記念資料室) |
| 4. 菊池常三郎と西宮回生病院 | 飯塚修三(いづか眼科) |
| 5. 平安京左京九条三坊十町出土施薬院関連木簡について | 多田伊織(大阪府立大学) |
| 6. 粟田口解剖所をめぐる | 八木聖弥(京都府立医大) |
| 7. 新出の後藤良山門人帳『儒医姓名録』について | 長野 仁(森ノ宮医療大学) |
| 8. 京都帝国大学総長荒木寅三郎—ドイツ留学当時の事績 | 榊原正義(藤田保健衛生大) |
| 9. 軍医寮創設の背景と歴史的意義 | 鈴木紀子(順天堂大学医史研) |
| 10. 外科医を育てる:アストリー・クーパー卿の生涯と業績 | 柳澤波香(東京都) |
| 11. 植考書屋の早川佐七と植物学者三好学の関係 | 吉川澄美(東京都) |
| 12. 藤井玄芝『病家心得草』(1780)にみる病家の心得 | 平尾真智子(健康科学大学) |
| 13. 医師久野道祐と京都市中京区堺町通り道祐町 | 葉山美知子(京都医学史研究会) |
| 14. 一宣教師の見た20世紀初頭の日本医療の課題 | 堀 忠(ながほり通り診療所) |
| 15. 緒方春朔の業績 | 西巻明彦(北里大学医史研) |
| 16. 浅井周伯『難経卑抄』 | 松岡尚則(研医学会) |
| 17. 新たに発掘された療養所遺構の保存と活用 | 相川忠臣(長崎大学) |
| 18. 越境する病理学者—田原淳とLudwig Ashoff | W・ミヒェル(九州大学) |
| 19. 薩摩医人列伝 | 園田真也(枕崎市) |

《紙上発表》

- | | |
|-------------------------------------|--------------|
| 1. 医学的知見の教育・福祉的支援の応用~F.Fernellの論文から | 小野尚香(畿央大学) |
| 2. いわゆる『儒医』についての考察VI—日常生活 | 田中祐尾(大阪市立大学) |

《特別講演》

- | | |
|---------|---------------------|
| 局所麻酔の変遷 | 演者 藤森 貢(大阪市立大学名誉教授) |
|---------|---------------------|

▽支部機関誌『醫譚』103号 平成28年7月20日発行

支部機関誌『醫譚』104号 平成28年12月25日発行

上述機関誌の掲載目次は関西支部(下記)をお開き下さい。

〒581-0003 大阪府八尾市本町 5-1-7 田中医院内

日本医史学会関西支部事務局(田中祐尾)

☎: 072-922-2028 FAX: 072-993-1237 HP: <http://mhkansai.umin.ne.jp/>

京都医学史研究会 活動報告

講演会

- ▷第244回 京都医学史研究会例会 平成28年10月20日(於)京都府医師会館
講演:「世界の歴史的病院の諸相～『病院』と『大塚薬報』の36回の連載より」
講師:岡山大学医史学 非常勤講師 石田純郎先生
- ▷第245回 京都医学史研究会例会 平成29年3月16日(於)京都府医師会館
講演:「現代医学はなぜ数多くの疾患を克服できたのか。」
講師:順天堂大学医学部解剖学生体構造科学講座 教授 坂井 建雄先生
- ▷医道顕彰会例大祭および講演会 平成28年10月10日(於)医聖堂
講演:「医道の京風景一復古と革新のあいだ」
講師:京都大学人文科学研究所教授 武田時昌先生
- ▷「医心方と京都の医学史」平成28年11月1日～3日(於)護王会館
主催 武田時昌教授

学会発表

- ▷平成28年度 第116回 日本医学史大会 5月21日～22日(於)広島県医師会館
《一般演題》曲直瀬道三の本作りを検証する一堀部氏あるいは勝部氏かー
京都医学史研究会 葉山美知子
- ▷日本医学史会 関西支部大会 平成28年11月13日(於)大阪市立医科大学
《一般演題》医師久野道祐と京都市中京区堺町通り道祐町 京都医学史研究会 葉山美知子

広報:

- ▷日本医史学会 関東支部合同大会 参加 平成28年12月17日(於)順天堂大学
第118回日本医史学会大会参加の情宣活動
- ▷第118回日本医史学会大会
京都開催に向けて実行委員会を2017年6月,7月,9月,10月,11月,12月,1月,2月,3月
毎月1回以上集会あり。

広島医学史研究会 活動報告

広島医学史研究会・岡山医学史研究会 合同学術集会

日時 平成29年1月28日(土) 14時～

場所 広島大学医学部基礎講義棟 第一講義室

1. 広島医史学研究会総会

2. 広島医史学研究会・岡山医学史研究会合同発表会

3. 開式の辞 大会長 新本クリニック 新本 稔

座長 元広島国際大学 千田武志

演題1. 蜂谷道彦とABCC 広島大学原爆放射線医科学研究所 久保田明子

演題2. 弥生人の歯・歯列の特徴と広島市近郊の現代人の比較 愛児歯科医院 三宅茂樹

演題3. 元岡山県知事・三木行治医師の公衆衛生(六)

—三木行治と川崎祐宣の関係—

倉敷仁風ホスピタル 高木寛治

座長 広島国際大学 隅田 寛

演題4. 麻醉：今、むかし…気管内挿管はいつ頃からか… 門前歯科医院 門前弘美

演題5. 富士川游遺品の書簡貼り交ぜ扉風について 元広島大学医学部 川和田晶子

演題6. インスリン戦争と秘密保持契約—ゆがめられた科学史— 江田島市 森原和之

コーヒーブレイク(10分間)

4. 特別講演会

座長 新本クリニック 新本 稔

○広島県の医師会、特に安芸地区医師会の歴史について 小野耳鼻科名誉院長 小野文孝

5. 閉式の辞 会長 広島大学 木原康樹

福岡地方会 活動報告

平成28年度福岡地方会は、下記の通り2度の研究発表会を開催いたしました。次年度も例年通りほぼ同じ日程で2度の開催の予定です。

第29回 福岡地方会

開催日時：平成28年8月27日(土)

会場：九州大学医学歴史館2F(福岡市東区馬出3-1-1)10時30分～12時00分

福岡ガーデンパレス(福岡市中央区天神4-8-15)14時30分～16時30分

参加者数：22名(発表者を含む)

午前の部：A会場(九州大学医学歴史館2F)

【発表者・演題】

赤司 友徳	医学映画製作と九州帝国大学 —第三内科初代教授小野寺直助の「庄診法」を手がかりに—
井口 潔	21世紀のパラダイムをルネッサンスの視点から考える
ダーヴィッド・ クウィーラ	江戸初期における解剖書の歴史的発展

午後の部：B会場（福岡ガーデンパレス）

【発表者・演題】

小林 晶・原 寛	王丸 勇先生と病跡学
権藤 寿昭	和田東郭②～江戸期折衷派の医師達
佐藤 裕	消化管の解剖用語の変遷
柴田 浩一	久保猪之吉 医学と文学の狭間で その3
原 寛	江戸時代 解剖学の流れ
木村 専太郎	江戸中期・後藤良山に始まる山脇東洋までの日本医学の流れ
黒木 俊英	わが国の戦争神経症研究史の現況
丸山 マサ美	史料教育・研究の意義に関する一考察—九州大学医学歴史館—

第30回 福岡地方会

開催日時：平成29年2月25日（土） 14時30分～16時30分

会 場：福岡ガーデンパレス（福岡市中央区天神4-8-15）

参加者数：15名（発表者を含む）

【発表者・演題】

赤司 友徳	養生館と売薬取締
小林 晶・赤司 友徳	「佛語明要」について（続）
権藤 寿昭	漢方折衷派医学③ 浅田宗伯（幕末から明治前半）
佐藤 裕	便移植のルーツは中国医学にあった！
柴田 浩一	「世界のイノ・クボ」久保猪之吉 欧米での活躍
原 寛	解剖書に見る西洋と日本
木村 専太郎	日本の近代医学の夜明け 山脇東洋
丸山 マサ美	Notes on Nursing (1860) 復刻版の意味

雑報

寄贈本リスト

【単行本】

- 圭介文書研究会編『伊東圭介日記第二十二集』「名古屋市東山植物園」2016
 鈴木五郎 米田該典『医史跡を訪ねて』「小太郎漢方製薬株式会社」2016
 ピエール・フォシャール著 高山直秀訳『歯科外科医 あるいは歯科概論』「時空出版」2016
 山口県ひとづくり財団『夢チャレンジ きらり 山口人物伝』2016
 東洋学園大学 東洋学園史料室『一波濤を越えて 東洋城市歯科医学専門学校の外国人留学生』2016
 渡部周子『つくられた「少女」』「日本評論社」2017
 ミヒェル・ヴォルフガング, 吉田洋一, 大島明秀 共編『中津市歴史民俗資料館 分館 医家史料館叢書
 XVI 学芸の諸相II』「中津市教育委員会」2017
 FLORENCE NIGHTINGALE『NOTES ON NURSING』「丸善プラネット」2017
 小形利彦『はたごまち文庫1 後藤又兵衛氏／田畑 實氏追悼記念号』「里之宮 湯殿山神社」2017
 鷹見家文書研究会『鷹見泉石の来翰を読む—政治篇—』2017
 東洋学園大学 東洋学園史料室『創立期の東洋女子歯科医専II—初の女子歯科医専, 女子初の文部大臣
 指定校—』2017
 吉元昭治『中・近世の傑人と医療』「医聖社」2017
 スティーヴ・パーカー監修, 酒井シヅ日本語版監修『医学の歴史大図鑑』「河出書房新社」2017
 東亜医学協会『第27回漢方治療研究会講演要旨集』2017
 Wolfgang Michel-Zaitz『Traditionelle Medizin in Japan』「KIENER,Munchen」2017
 スーザン・P・マートン著, 澤井直 訳『ガレノス』「白水社」2017

【別刷】

- 『野稿一章—青木周蔵の「遠遊」上書—』森川潤「広島修大論集」57(2)
 『華岡直道・青洲・鷺洲・厚堂が主宰した華岡家へ入門した門人たち』梶谷光弘「華岡青洲研究事業研究論文」(1)

【雑誌】

- 『あいみっく』37(4), 38(1-3) 国際医学情報センター
 『BIBLIA』(146-147) 天理図書館
 『Chinese Journal of Medical History』46(3-6), 47(1-2) Chinese Medical Association
 『Chinese Medical Journal』129(17-24), 130(1-16) Chinese Medical Association
 『だより(練馬区医師会)』(584-595) 練馬区医師会
 『北陸医史』(39) 北陸医史学同好会
 『醫譚』(通刊120-122)(復刊103-105) 日本医史学会関西支部
 『医道の日本』75(11-12), 76(1-11) 医道の日本社
 『いわちどり(小笠医師会誌)』(44) 小笠医師会
 『除痘館記念資料室だより』(9-10) (財)洪庵記念会 除痘館記念資料室
 『漢方の臨床』63(10-12), 64(1-9) 東亜医学協会
 『神奈川県医学会雑誌』43(2), 44(1) 神奈川県医師会

- 『研究紀要』（11-12） 佐賀大学地域学歴史文化研究センター
『明治薬科大学研究紀要』（46） 明治薬科大学
『名古屋大学士学文書資料室紀要』（25） 名古屋大学大学文書資料室
『日本医師会雑誌』145（8-12）, 146（1-7） 日本医師会
『日本獣医史学雑誌』（54） 日本獣医史学会
『日本歯科医史学会誌』32（1-2） 日本歯科医史学会
『鳴滝紀要』（27） シーボルト記念館
『労働の科学』71（9-12）, 72（1-10） 労働科学研究所
『STETHOSCOPE』（223-226） 日本医学切手の会会報
『斯文』（129-131） 斯文会
『適塾』（49） 適塾記念会
『洋学史研究』（34） 洋学史研究会